

株式会社スペースエンターテインメントラボトリー

ロボット・ドローン分野

実施期間

2018~2020年度

実用化開発場所

南相馬市

水面を翔ける水鳥のように。離発着の着眼を変えた長距離運用無人航空機システムの開発

事業計画

水上での自動離着水および航行が可能な長距離運用無人航空機システムの開発



自動での水上航行



固定翼ならではの長時間飛行



水面を滑走路に自動発着が可能

事業概要

河川や湖、湾内など障害物が少なく安全性の高い水上での離着水を自動で行える固定翼型のドローン「浜鳥 (HAMADORI)」と、高い飛行性能(長距離、長時間、高速)を最大限に活かした運用が可能な、地上局をはじめとする無人航空機システムの開発を進めています。

事業化への道のり

マルチコプター式ドローンが抱える飛行時間や飛行距離などの課題をクリアするために、固定翼式ドローンの開発に着手しました。しかし飛行機と同様、離発着には滑走路のような広く開けた場所が必要となり、山や住宅地、高いビルがあるところでは離着陸が不可能でした。代わりに着目したのが海や河川、湖などの水辺でした。水鳥が飛び立つように水面から離発着を可能にすることで、離発着および飛行時間、距離の問題を解消することが可能となりました。将来的には水産業や海難警備・救助、海上建造物のメンテナンスなどの活用も視野に開発を継続しています。

▶イノベ機構による支援 ※福島イノベーション・コースト構想推進機構(イノベ機構)によるイノベ構想関連開発技術の事業化支援(本冊子P.120を参照)

販路拡大につながるような展示会への出展支援やWEBサイトなど販促ツールの製作、さらに行政・自治体関係者とのマッチング支援などをいただきました。また実用化完了後、更なる技術の高度化に対する運用実証実験を実施するにあたり、小名浜海星高校を紹介いただきました。同校の練習船である福島丸でドローンを沖合に運び、実際に実験することができました。

▶今後の展望

福島県の復興の象徴の一つであるドローンやロボット開発は今後の成長産業として期待されています。我々のプロジェクトで使用する部品の一部は、企画から設計・開発を地元浜通りの企業と協力しながら調達しており、将来的には浜通り地域での雇用創出につながるものと期待しています。福島県で生まれた技術を世界へ向けて発信できるよう、取り組んでまいります。



代表取締役 金田 政太

株式会社スペースエンターテインメントラボトリー

〒975-0036 福島県南相馬市原町区萱浜巣掛場 45-245
南相馬市産業創造センター

創業 2014年7月7日

従業員 14名

TEL 0244-26-6208 (代表)

URL <http://www.selab.jp>

